

意見交換のため、活発な活動を

—新副会長に櫻井広美氏 (株) SCREEN グラフィックソリューションズ)

プリプレス&デジタルプリンティング機材協議会(山田周一郎会長)は5月28日、通常総会を東京都千代田区の喜山倶楽部で開き、上程された議案を原案どおり承認した。総会後には、一般社団法人刑事事象解析研究所(ケイジケン)の森雅人代表理事(所長)が「サイバー担当元刑事が語るビジネスパーソンが知っておくべきサイバー対策—対策は万全に、情報は有効に使う」をテーマに記念講演を行った。

総会に先立ち、山田会長が次のようにあいさつをした。

「会長に就任してから毎年のように申し上げているが、不透明で不確実で何が起こるか分からない状況下で、新しい事態がどんどん起きる、ということが繰り返されている。今までは、これまでやってきたことや事例を踏襲すれば外すことはなかったが、今は時代が変化しており、その時点での最適解を自分で選び、素早く実行することが必要になっている。

『円弱』ともいえる円安による原材料費と物価の上昇、人手不足と賃金の上昇といった課題に中長期で取り組んでいかなければならない。これは悪いことばかりではなく、業界でも『適正な価格』で買うことが浸透している。データを見ると、印刷総量は減っているが、額は減っておらず、単価が上がっていることが示されている。一方で、印刷の価値も上げていかなければならない。ユーザーはプロフェッショナルとしてそれに取り組んでいる。われわれも印刷の価値を上げる製品、サービスを提供して、サポートし、貢献していかなければならない。当会では、提供する側として現状を正しく理解し合える意見交換の場として、活発に活動し



山田会長

ていきたい。業界は今、変わろうとしている。我々も変化し、業界に貢献していきたい」

2026年度は、会員にとって有意義となる講演会を中心に活動し、会員各社のさらなる発展、向上を図る。また、ユーザーおよび関連団体と連携しながら技術・業態の変革に対応した事業活動を展開することで業界の発展に貢献することを目指す。

さらに、従来の委員会・部会活動に加え、伸長著しいデジタルプリンティング分野に関する市場・技術動向調査、意見交換を積極的に行っていく。

部会活動でもこれまでの取組みを総括しつつ、さらなる活性化を目指す。

記念講演では森氏が、刑事時代の経験を交えながら、サイバー攻撃への対策と心得を解説したほか、ネットにある情報をいかに活用することが重要になるかを説いた。



田中前副会長には山田会長から記念品が手渡された

懇親会では、退任した田中志佳前副会長に記念品が贈られ、田中氏は「副会長の4年間、業界は大きく変わった。デジタル化、自動化が進み、当会もそのサポートに取り組んできた。今後、業界的にもデジタルでのデータのやり取りやネットワーク接続は欠かせず、セキュリティはますます重要になる。本日の森先生のお話を参考にして、プリデジ協でお客様を盛り上げ、さらに印刷業界を盛り上げていく。そういった会として活躍してほしい」とあいさつした。

続いて、新任となる櫻井広美副会長が「山田会長が『今ある情報で、即断即決にスピーディーに進んでいかねばならない』とあいさつされたが、その通りだと思う。業界を取り巻く環境は厳しいが、皆さんと一緒になって、汗をかいて盛り上げていきたい」とあいさつした。

乾杯発声では、砂子慎一副会長が「印刷業界ではあ



櫻井広美氏のプロフィール

1965年生まれ。新潟県出身。1988年大日本スクリーン製造株式会社入社、2006年にメディアテクノロジー・ジャパン（現 SCREEN GP ジャパン）へ出向、18年に SCREEN GP Americas, LLC のバイスプレジデント、22年にシニアバイスプレジデントに就任。23年に SCREEN グラフィックソリューションズ・ビジネス統轄部副統轄部長、24年に執行役員ビジネス統轄担当。今年4月に代表取締役 社長執行役員に就任した。

りとあらゆるものが値上がりしている。しかし、物価が上がっているから『価格を上げる』では、『印刷でなくてもいい』となりかねない。価値ある印刷物、印刷の付加価値をどういったところに求めていくのかということをテーマに皆さんと相談、議論していきたい」とあいさつし、櫻井副会長の中締めでお開きとなった。



2025年 会員の集い

いい競争をしながら業界の発展に貢献を

「2025年会員の集い」を12月1日に東京・千代田区の如水会館で開いた。参加者が懇親を深めながら、抽選会を楽しみ、懇親を深めた。

特別講演では、早稲田大学大学院経営管理研究科教授の長内厚氏が、「これからの日本の製造業の生き残り策」をテーマに講演した。

長内氏は「不確実性の時代は優れた技術や効率化だけでは乗り切れない。どのように利益を上げるかも考える必要がある。そのためには生産性を上げる『効率』の経営とムダを許容し多様性を生み出す『効果』の経営の二つを柔軟に使い分けることが必要だ」と述べた。

懇親会では山田会長が次のようにあいさつした。

「本日の講演は、勉強になり、整理がつき、身につまされるものがあった。シェアリングしている業界でも『効率』と『効果』を使い分けるのは重要だ、という先生の言葉に納得し、勇気づけられた。

今年も大変な一年だったが、日本はまだまだ頑張れる。印刷業界のサプライヤーとしていい競争をし、時に手を取り合ってやっていきたい」

乾杯発声では、田中志佳副会長の代理として、櫻井広美氏（SCREEN グラフィ

ックソリューションズ）が「みなさんとともに、来年に向けて業界を盛り上げていきたい」と述べ、杯を挙げた。

歓談中には大抽選会を楽しみ、会員同士が親睦を深めた。

中締めには坂口哲哉常任理事が登壇し、「当協会は今年設立50周年を迎えた。設立以来、業界発展を推進してきたが、今後は、環境対応、価値の創出といったことも皆さまとともに推進していきたい」と述べ、一本締めでお開きとなった。



部会の活動

デジタルプリンティング部会が7月13日、コニカミノルタジャパン(株)で開かれた。セミナーでは、マネジメントシステム研究所の木村弘紀氏が、「印刷工場の省エネから始まる『相談され、頼られる営業へのステップアップ』」をテーマに講演した。

セミナーでは、印刷会社出身の木村氏が実体験とともに、顧客への質問・提案のきっかけとして「省エネ」を薦めた。

「きっかけは、『省エネ』だけではない。まずは工場を診て、質問して、情報を集めることが重要だ。そこから会社や部署で情報を共有して、提案につなげることで、頼られる営業になることができる」と説いた。

今後の主なイベント

- ・ All in Print China 2026
10月12日～16日 上海新国際博覧中心
- ・ TOKYO PACK 2026
10月14日～16日 東京ビッグサイト
- ・ ラベルフォーラムジャパン 2026
10月14日～16日 東京ビッグサイト
- ・ 全日シール第68回年次大会 東京大会
10月16日 東京ビッグサイト
- ・ 全日本印刷文化典 沖縄大会
10月16日～17日 沖縄ハーバービューホテル
- ・ フレキシ・ジャパン 2026
11月5日～6日 東京・有明TFTビル
- ・ page2027
2月17日～19日 サンシャインシティコンベンションセンター
- ・ IGAS2027
8月5日～9日 東京ビッグサイト

IGAS2027出展者説明会を開催

宇賀なつみアナウンサーがIGASスペシャルナビゲーターに決定

来年8月5日から9日まで東京ビッグサイト東展示棟で開催されるIGAS2027の出展募集・相談会が7月22日に東京・芝公園の機械振興会館でオンラインを併用して開催され、約100名が参加した。また、当日はIGAS2027のスペシャルナビゲーターにフリーアナウンサーの宇賀なつみさんが決定したことが発表された。

日本印刷産業機械工業会の里見和男専務理事は「IGAS2027は、東京ビッグサイトの大規模改修工事などの影響で5年ぶりの開催となる。パンデミックの影響を受けた前回のIGAS2022は、国内外のメーカーなど218社が出展、5日間で約3万3,000人にご来場いただいた。IGAS2027は、パンデミック後初のIGASと言える。本日はIGAS2027に出展をご検討いただいている各社様にご参加いただいている。出展に関する疑問や不安があれば事務局まで問い合わせいただきたい」とあいさつ。イベント企画については「前回好評であったIGAS LIVE TVをさらに充実させる。フリーアナウンサーの宇賀なつみさんをスペシャルナビゲーターに迎え、IGAS2027を大きくアピールする」と報告。「5年ぶりの開催となるIGAS2027にはこれまで以上に期待が高まっている。ぜひ出展をご検討いただきたい」と述べた。

IGAS2027は、「IGAS LIVE TV+」「IGAS LIVE STUDIO」「PANEL DISCUSSION」「TOUR」「THEME ZONE」など多彩なイベント企画を予定している。

IGAS LIVE TV+はスペシャルナビゲーターに宇賀なつみさんを迎え、さまざまなコンテンツをIGAS公式Webサイトでライブ配信を行う。同時にガレリアに設置した大型モニターにおいて、同様のコンテンツを放映する。

IGAS LIVE STUDIOでは、イベントスペースを設置してゲストとのトークセッション等のライブイベントを予定。テーマを「印刷×〇〇」としてこれまでにない視点や異業種業界の視点を取り込んで幅広い来場者へ訴求する。

また、プロモーションにも今まで以上に注力。「日本国内のみならず海外からの来場者数拡大へのプロモーションもこれまで以上に注力する」とし、過去のIGASにおける実績から韓国、インド、中国、台湾を中心に関連業界団体等との協力関係を活用して広報活動を展開していく。



スペシャルナビゲーターを務める
宇賀なつみさん

【感光材出荷量推移】

